

**製品名: タウ (リン酸化 Ser356) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05525**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50-85kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAPT
別名	MAPT; MAPTL; MTBT1; TAU; Microtubule-associated protein tau; Neurofibrillary tangle protein; Paired helical filament-tau; PHF-tau
遺伝子 ID	4137.0
SwissProt ID	P10636
免疫原	抗血清は、Ser673 のリン酸化部位周辺のヒトタウ由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 641-690

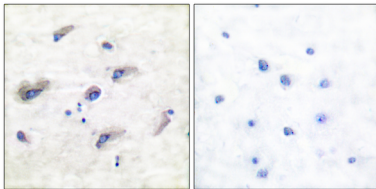
**背景**

この遺伝子は微小管関連タンパク質タウ (MAPT) をコードしており、その転写産物は複雑かつ制御された選択的スプライシングを受け、複数の mRNA 種を生成します。MAPT 転写産物は、神経細胞の成熟段階やニューロンの種類に応じて、神経系において異なる発現を示します。MAPT 遺伝子の変異は、アルツハイマー病、ピック病、前頭側頭型認知症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺など、いくつかの神経変性疾患と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです。アイソフォームは、15 個のエクソンのうち最大 5 個の有無によって互いに異なります。

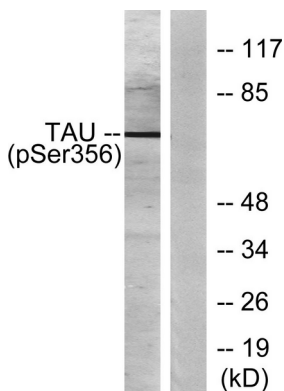
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;アルツハイマー病;

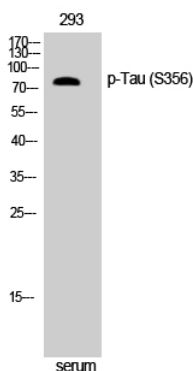
## 画像データ



タウ (リン酸化 Ser356) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



血清 10% 15' で処理した 293 細胞ライセートの Tau (リン酸化 Ser356) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 希釈のリン酸化タウ (S356) ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット解析